

■ 12月5日（木）

本日はいつもより朝早い集合でしたが、生徒たちは元気に登校してきました。

ロサンゼルスダウンタウン近くにあるTajima high schoolへ行き、現地の学生との交流の日です。生徒たちも明の星のプレゼンテーションをすることになっているので、バスの中では紹介文の練習をしている姿も見られました。

学校に到着すると、案内された部屋には「ようこそ！to Tajima」と書かれたウェルカムボードや風船が飾られていました。ドーナツやマフィンがふるまわれ、Tajima high schoolのプレゼンテーションと、明の星生による学校紹介や放課後の活動についてのプレゼンが行われました。



その後、生徒たちはバディとともに、授業に参加したり、庭で生徒同士の雑談に加わったりと、それぞれのバディの校内生活を一緒に体験してきました。

Tajima high schoolは、Mr. K. 田島によって設立された公立校です。州および連邦政府の教育資金によって運営され、優秀な生徒を育てることによって、企業から返済義務のない奨学金・金銭的支援プログラム（スカラシップ）の契約がたくさん獲得されています。このダウンタウン周辺にはアメリカ国籍を所有していない人たちも多く、国籍を得られない家庭では、子どもに優れた教育を与えることができなく、そのような家庭環境の方々のために開設された学校です。そのため優秀な生徒がとても多い学校です。

立地はロスのダウンタウン近くにあるため、学校は安全確保のため鍵付きの扉に囲まれ、各教室も外からは鍵を使わないと入れない造りになっていますが、生徒たちも日本と異なる学校環境にとっても興味深そうでした。トイレに行くにも鍵を開けてもらわないとならない状態です。生活週間の違いだけが文化の違いではないことを知る良い機会になりました。

午後は昼食にピザがふるまわれ、お昼休憩の後は再びバディの授業に参加しました。英語やスペイン語の授業もありましたが、日本には無い教科に参加した生徒たちもいました。ロサンゼルスは現在白人の方がマイノリティなので、Tajima生のなかには英語以外が主言語の生徒も居て、校内に居るだけでアメリカのグローバルを実感出来たことと思います。

